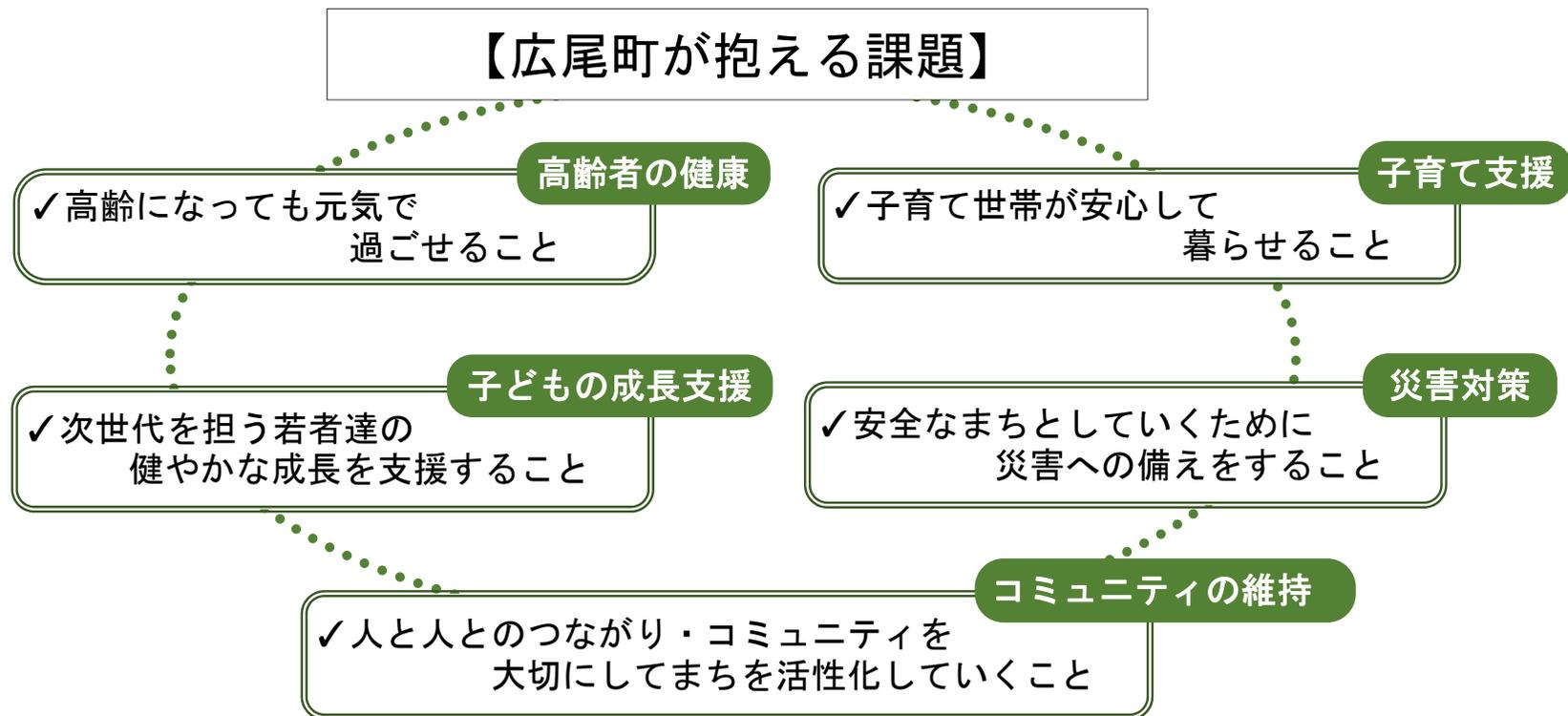


◆「新たな公園づくり」◆ ～みんなの笑顔があふれる遊び場～

1. 人口減少・少子高齢化がもたらす 広尾町の課題

民間団体の報告書で広尾町は「将来的に消滅の可能性がある自治体」とされるなど、人口減少が避けられない状況となっています。このような中でも地域の活力やコミュニティを維持し、『将来にわたりみんなが住み続けられるまちとしていけるか』ということが、まちの大きな課題となっています。



2. 公園に関する問題点や要望

広尾町の公園については、かねてから、町民から様々な問題点や要望が挙げられています。

✓子ども達が安全・安心に遊べない。 ⇒ **安心・安全な遊びの場**

✓公園といっても、くつろげるようなベンチもなく、
子ども達を見ているときも立っていなければならない。 ⇒ **大人もくつろげる場**

✓子ども達と遊べる公園の設備が良くない。きれいなトイレがない。 ⇒ **施設・設備の充実**

✓公園は、小さい子だけでなく、中学生や高校生、大人、高齢者も楽しめるものを。 ⇒ **多世代が楽しめる場**

✓ボールを使える等のスペースが欲しい。（グリーンパークでは場所が悪い） ⇒ **のびのび遊べる場**

「広尾町のまちづくりの課題」や「公園に対する問題点や要望」を受け、町は「新しい公園づくり」を検討するため、多様かつ多世代にわたる方々と対話を通して、構想案をまとめました。

このようなプロセスを経て、町民が公園に対し期待することや、子ども達が思い描く夢や希望を盛り込みつつ、どのような方向で整備を進めるのかを明らかにするため、コンセプトと4つの大目標を決定しました。

3. 『新たな公園づくり』のコンセプトと4つの大目標

コンセプト…多くの町民に愛される広尾らしい多目的公園

大目標1：子育てを応援し、小さい子から高齢者まで誰もが長居したくなる公園

【具体的な内容】

- (1) 幼児用・児童用の遊具を充実させることにより、子育て環境の充実を図り、子どもを産み育てやすいまちづくりをめざす。
- (2) 多世代が交流し、多目的に楽しみ、寛ぎ、心安らぎ、長時間滞在したくなる公園をめざす。
 - ① 子育て中の保護者が寛げる場所
 - ② 幼児や小中高生がスポーツ・レクリエーションを楽しむ場所
 - ③ 色々な年代の人が、美しい草木を鑑賞したり、散歩をしたり、犬を遊ばせたりなど、気軽に集い多目的に楽しめる場所

大目標2：広尾らしさや他のまちにはない魅力を備えた公園

【具体的な内容】

- (1) 広尾町の特徴である、サンタランドや海の町の要素、漁業・農業・林業など第一次産業の魅力などをつめこんだ公園をめざす。
- (2) 高齢者の健康増進機能と若者の運動交流機能の両方を盛り込むなど、近隣町村にはあまりない魅力を備えた公園をめざす。

大目標3：防災機能を有した公園

【具体的な内容】

防災資機材を保管する防災倉庫を建設するほか、様々な防災機能を盛り込み、大災害発生時の拠点となる公園をめざす。

大目標4：町民が愛着を持ち、未来に向けて守り育てる公園

【具体的な内容】

公園を居心地の良い空間とするため、町民みんなが愛着を持ち、ルールを守ってきれいに使い、まちぐるみで未来にわたって守り育てていく公園をめざす。

4. 『新たな公園づくり』の4つの大目標と公園施設・設備

「コンセプト」の「大目標」を実現するために、次のとおり施設や設備を整備します。

<大目標>

<目標実現に向けての主な施設・設備>

※カッコ内は関連するエリア等

1. 子育てを応援し、小さい子から高齢者まで誰もが長居したくなる公園

○児童遊具／幼児遊具／じゃぶじゃぶ池／あずまや／ベンチ （遊具広場・運動広場）
○室内キッズスペース／町民交流スペース／屋外デッキ （町民交流施設）
○バスケットコート （多目的広場）○周遊園路／ドッグラン （緑地）

2. 広尾らしさや他のまちにはない魅力を備えた公園

○港町や海を連想させるインターロッキングや船形遊具／キャラクターベンチ
（遊具広場、エントランス広場）
○周遊園路 （緑地）○アスファルト舗装／バスケットコート （多目的広場）

3. 防災機能を有した公園

○防災倉庫／かまどベンチ／トイレスツール／防災あずまや／ソーラー照明
（防災エリア、緑地、砂利駐車場）

4. 町民が愛着を持ち、未来に向けて守り育てる公園

※敷地全体に関連する事項

みんながルールやマナーを守って利用することで、多世代の人が集まり、交流することにより、公園が居心地の良い空間と感じ、まちぐるみで未来にわたって守り育てたくなる公園

次のページからは、各エリアの機能などを説明します。

5. エリア別の機能

①遊具広場・運動広場

このエリアの位置



この施設は、公園に関する次のような要望等に対応しています。

- ✓子ども達が安全・安心に遊べない
- ✓子どもの遊びを見守り、くつろげるベンチがない
- ✓のびのび遊べる場が欲しい

運動広場

ボール遊びもOK!

○広いスペースで、のびのびと体を動かして遊べるエリアです

【ポイント】

- ・遊具広場と離れていることで、安心してボールなど道具を使用できる



体を動かした遊び

◆そのほかの特徴◆

- ・子ども達の見守りのために「あずまや」や「ベンチ」を設置
- ・ペットも一緒に楽しめる「ドッグラン」を設置



遊具広場

楽しい遊具でおもいきり遊ぼう!!

○主に小学生以下の子ども達が、遊具を使って楽しく安全に遊べるエリアです

【ポイント】

- ・児童用と幼児用のエリアを区分
- ・安全に水遊びができる池も設置
- ・子ども達の動き（動線）を意識した遊具配置
- ・インクルーシブ遊具を設置
※インクルーシブ遊具：障がいがある子もない子も、一緒になって遊べる遊具



インクルーシブ遊具



水遊び場



②多目的広場・エントランス広場

このエリアの位置



この施設は、公園に関する次のような要望等に対応しています。

- ✓中学生、高校生も楽しめる場が必要
- ✓まちなかのイベントの場所が必要



バスケットコート



ストライダー
(公式HPより引用)

多目的広場

中・高生も
楽しめる

○ストリートスポーツなど多目的に楽しめるアスファルトのエリアです

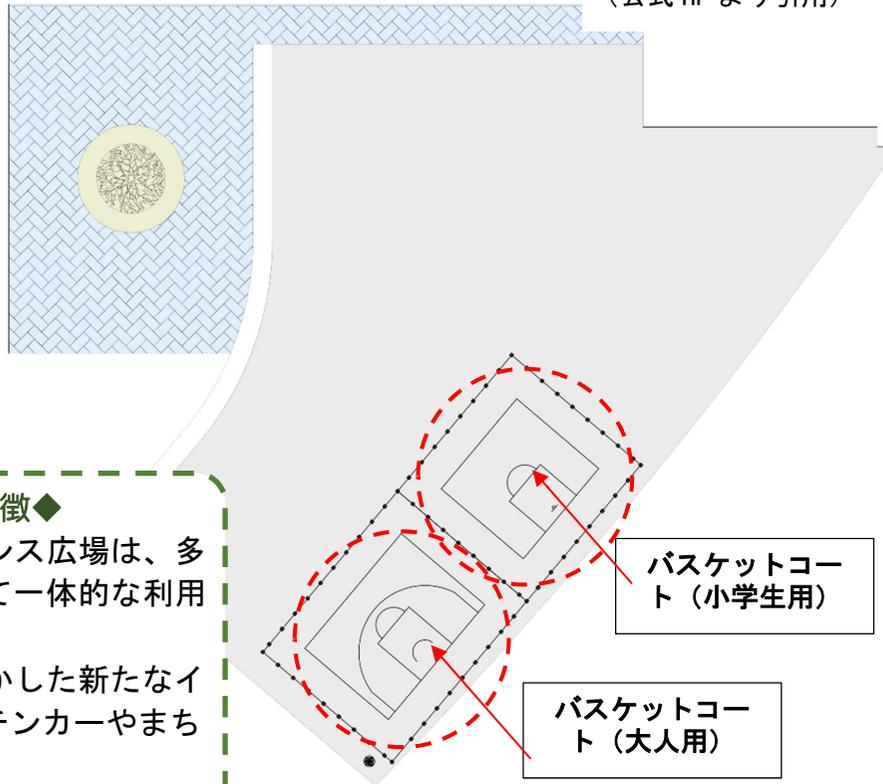
【ポイント】

- ・常設施設として、バスケットコート（小学生用、大人用）を設置
- ・スケートボードなどのストリートスポーツが安全におもいきりできる
- ・子どもの自転車・ストライダーの練習に最適
- ・たのしいお祭りやイベントも開催できる

お祭り



キッチンカー



シンボルツリー



◆そのほかの特徴◆

- ・多目的広場とエントランス広場は、多様なイベントの場として一体的な利用が可能
- ・まちなかの利便性を活かした新たなイベントにも対応（キッチンカーやまちなかマルシェなど）

エントランス広場

特色ある
公園の玄関口

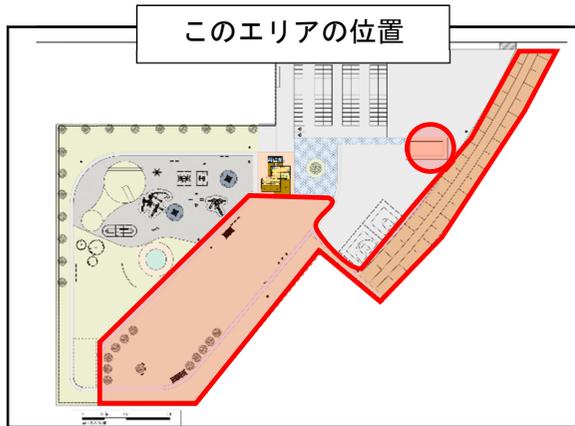
○広尾らしさあふれる「新たな公園」のウェルカム広場です

【ポイント】

- ・入り目の目印となるシンボルツリーの設置
- ・港町や海を連想させるインターロッキング（ブロック舗装）を敷設
- ・さーたちゃんなどキャラクターをモチーフとしたベンチの設置

③緑地・防災関連施設

安心・安全な
まちづくり



この施設は、公園に関する次のような要望等に対応しています。

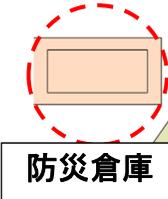
- ✓散歩など だれもが楽しめるように
- ✓くつろぎ交流できる場所が必要
- ✓防災時の避難場所など、もしもの時の備えが必要

防災関連施設

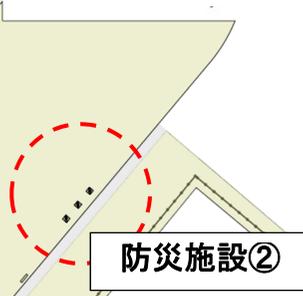
○有事の際の避難拠点としての機能を備えています

【ポイント】

- ・防災資機材を一括管理、保管する「防災倉庫」を設置
- ・災害対策として、「かまどベンチ」や「トイレスツール」などを設置



みんながやすらぐ
憩いの場



緑地

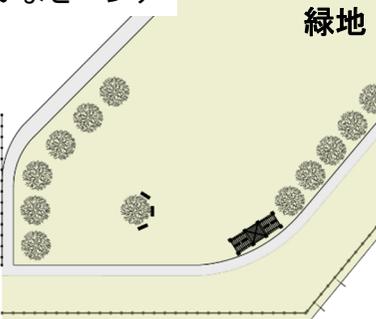
○子ども達だけではなく、みんなにとっての憩いの場となるエリアです

【ポイント】

- ・散歩や散策など、だれもが日常的に楽しめる憩いの場
- ・まちなかでのイベント開催の場
- ・町民交流施設と一体となる交流空間としての利用
- ・災害発生時には一時避難場所として利用（仮設テントなどの設置スペースとなる）

◆そのほかの特徴◆

- ・防災関連施設は「防災意識の向上」や「防災啓発」のため、平時も利用可能



6. 「新たな公園」で『みんなの笑顔があふれるまち』へ

「新たな公園づくり」は人口減少・少子高齢化がもたらす広尾町のまちづくりの様々な課題の解決につながることを期待されます。

